

情報公開文書

研究の名称	強角膜・網脈絡膜疾患の強角膜組織・涙液・前房水・硝子体液の解析
研究代表機関	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・職名および氏名)	眼科学講座 教授 林篤志
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。</p> <p>【研究の目的・方法】</p> <p><u>研究の目的</u> 当科で診療を受けられた患者さんの眼の組織や液体(涙液、前房水、硝子体液など)を用いて、眼の病気の原因や病気の進み方を詳しく調べることを目的としています。 具体的には、以下のような眼の病気について研究を行います： 強角膜の病気(強角膜炎など) 網膜の病気(糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症、網膜剥離など) ぶどう膜や脈絡膜の病気(眼サルコイドーシス、急性網膜壊死、悪性リンパ腫など) これらの病気がなぜ起こるのか、どのように進行するのかを明らかにすることで、将来的により良い診断方法や治療方法の開発につながることを期待されます。</p> <p><u>研究の方法</u> 当科で通常の診療や手術の際に採取された以下の試料を研究に使用させていただきます： 涙液 前房水(眼の中の水) 硝子体液(眼の中のゼリー状の組織) 眼の組織(手術で取り除いた組織など) これらの試料を顕微鏡で詳しく調べたり、組織の成分を分析したりすることで、病気の原因となる細菌や炎症の有無、血管の変化などを調べます。</p> <p>なお、この研究のために新たに採血や組織採取を行うことはありません。通常の診療、手術で得られた試料のみを使用します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2031年3月31日</p> <p>【研究対象者】 この研究の対象となる方は、以下に該当する方です。</p> <p>対象となる方 富山大学附属病院眼科において、承認日から2031年3月までの期間に、以下のいずれかの眼の病気で診療(外来通院または入院)を受けられた方、全年齢が対象です。</p>

	<p>対象となる主な病気</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 角膜の病気：フックス角膜ジストロフィ、水疱性角膜症、角膜上皮幹細胞疲弊症、その他の強角膜疾患 2. 網膜の病気：糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症(中心静脈閉塞症、分枝静脈閉塞症)、網膜剥離、その他の網膜疾患 3. ぶどう膜・脈絡膜の病気：眼サルコイドーシス、急性網膜壊死、眼内悪性リンパ腫、その他の網脈絡膜疾患 <p>上記の病気で、診療や手術の際に涙液、前房水、硝子体液、または眼の組織を採取された方が研究対象となります。</p> <p>年齢制限はありません。お子さんから高齢の方まで、すべての年齢の方が対象です</p> <p>【研究資金、利益相反の状況】 研究資金は医局・講座研究費を使用します。 本研究における申告すべき利益相反はありません。</p> <p>【個人情報の取扱い】 診療録から情報を取得した後は、お名前や診療録番号などの個人を直接特定できる情報は削除し、代わりに研究用の識別番号（例：患者 001、患者 002 など）を付けて管理します。これにより、他の情報と照合しなければ個人を特定できないように加工します。 加工された研究データは、パスワードで保護された富山大学眼科医局内のコンピュータで厳重に管理します。研究用識別番号と診療録番号の対応表は、研究データとは別の場所に保管し、二重のセキュリティ対策を行います。 研究に関する情報は、研究結果の最終公表後から10年間保管し、その後は紙媒体のシュレッダー処理または電子ファイルの完全消去により、復元不可能な形で廃棄します。 研究成果を学会や論文で公表する際には、個人が特定される情報は一切含まれません。</p> <p>【研究結果の公表の方法】 本研究の成果は、眼科関連の学会での発表や、国内外の医学専門誌への論文投稿により公表する予定です。公表の際には、個人を特定できる情報は一切含まれません。</p> <p>【試料・情報の他機関への提供有無】 有</p> <p>【外国にある者への提供について】 該当なし</p>
②利用又は提供する試料・情報の項目	<p>【試料・情報の項目】 この研究では、以下の試料と診療情報を使用させていただきます。 使用する試料(眼の組織や液体) 通常の診療や手術の際に採取された以下の試料を使用します： 涙液(涙)</p>

	<p>前房水(眼の前の方にある透明な液体) 硝子体液(眼球の中を満たすゼリー状の透明な液体) 角膜組織(眼の表面の透明な膜) 強膜組織(眼球の白い部分) 網膜前増殖組織(網膜の表面にできた組織)</p> <p>使用する診療情報 診療録(カルテ)に記載されている以下の情報を使用します: 年齢、性別、病名(診断名)、視力などの検査データ、治療内容(使用したお薬、行った手術など)、その他診療に関する情報</p>
③利用又は提供を開始する予定日	<p>【利用又は提供を開始する予定日】 富山大学附属病院長の実施許可日</p>
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	<p>機関名：富山大学附属病院 機関の長：富山大学附属病院長 山本善裕</p>
⑤提供する試料・情報の取得の方法	<p>試料(眼の組織や液体)の取得方法 通常診療や手術で採取された試料を使用します。 当科で診療を受けられた際に、病気の診断や治療のために必要な検査・手術が行われます。その際に採取された涙液、前房水、硝子体液、眼の組織などのうち、検査後に残った試料(残余試料)を研究に使用させていただきます。 この研究のために、新たに試料を採取したり、採取量を増やしたりすることは一切ありません。あくまでも通常診療で必要な範囲で採取された試料の残りを使用します。</p> <p>診療情報の取得方法 診療録(カルテ)から情報を取得します。 患者さんの年齢、性別、病名、視力などの検査結果、治療内容などの診療情報は、当科の診療録(電子カルテ)に記録されている情報を使用させていただきます。 この研究のために、新たに検査を行ったり、追加の情報をお聞きしたりすることはありません。すでに通常診療で得られている情報のみを使用します。</p>
⑥利用する者の範囲	<p>本研究で情報を利用する者は以下のとおりです。 研究実施機関：富山大学附属病院 研究責任(代表)者：眼科/教授/林 篤志 研究分担者： 眼科/准教授/丸山 和一 眼科/講師/柚木 達也 眼科/講師/三原 美晴 眼科/助教/コンソルボ上田 朋子 眼科/助教/宮腰 晃央 眼科/助教/中村 友子 眼科/助教/大塚 光哉 眼科/病院助教/石田 聖朗 眼科/病院特別助教/赤井 亮太 眼科/大学院医員/片山 博史 眼科/医員/豊田 直幹</p>

	共同研究機関： 大阪大学微生物病研究所 元岡大祐 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所、創薬デザイン研究センター 足立淳
⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	機関名：富山大学附属病院 機関の長：富山大学附属病院長 山本善裕
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	研究対象者に関する試料・情報を当該研究に用いること（他の研究期間への提供も含む。）に対して、拒否をご希望される場合や研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。 電話番号：076-434-7363 FAX：076-434-5037 E-mail：kazu1026@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名：眼科 丸山和一